

# いすみ医療センター 通信

ISUMI  
MEDICAL  
CENTER  
MAGAZINE

Vol.4

令和4年1月

## —Topics—

- ・ 感染対策チーム  
について
- ・ 新型コロナウイルス  
治療薬について
- ・ 医師紹介
- ・ お知らせ

発行：広報委員会

# ICT感染対策 チームとは

副院長 佐野英樹

特殊  
救急診察室

## 患者様と医療スタッフ両方を守るために

近年、全世界で流行している  
新型コロナウイルス「COVID-19」  
感染症からどのようにして環境・人を守るのか…  
院内感染対策委員長の佐野医師に話を聞きました。

### ICT感染対策チームとは？

インфекション・コントロール・チームの略称です。

院内で起こりうる様々な感染症から、患者さんや医療スタッフ等の安全を守るための組織です。

### メンバー構成

医師、看護師、薬剤師、検査技師、放射線技師、リハビリ、事務など多くの職種で構成されています。1 - 2月に1度の定期会議や臨時会議で、感染症に対する対策、予防、勧告などを行います。主な活動内容は以下の通りです

- 1 院内感染症の定期的な調査・観察（サーベイランス）  
感染症の発生状況をモニタリングして、その蔓延の予防に役立てます。  
使用している抗菌剤の集計を行い耐性菌の発生を予防します。
- 2 院内ラウンド  
ICTメンバーによる院内の実地調査（ラウンド）を実施し、各現場の衛生状況の監視、指導を行います。  
結果を病院会議に発表し、院内WEBライブラリで公開しています。
- 3 感染管理教育の実施  
定期的に外部から講師を招き、職員全員に感染管理教育研修を開催しています。  
(2~3回/年)
- 4 感染対策マニュアルの作成と改訂  
院内だけではなく院外の専門医師とも連携し、各種ガイドラインに基づく感染対策マニュアルの作成と改訂を行います。



## これまでの成果と今後の課題

ICTメンバーだけではなく、病院スタッフ全員の研修により、標準予防策がより正確に行われるようになり、さらに抗菌剤使用の適正化ともあわせ、耐性菌の院内発生が以前と比較し大きく抑えられているように思えます。

直近では新型コロナウイルス感染症患者に数多く外来対応し、入院治療も行いましたが、感染マニュアルの徹底等で、幸いにも現時点で院内感染を生じることなく乗り越えることが出来たように思えます。

実行できていない活動として、地域の病院との合同カンファレンスや、抗菌剤適正使用支援チーム活動があり、今後の課題といえます。

最後に反省点と今後の改善点です。ICTの活動の多くは文字通り院内に限られ、病院外、地域の感染症対策に関与が出来なかったことです。特に今回の新型コロナウイルス感染症において、エビデンスやガイドラインといった科学的根拠に基づいた施策が滞りなく行われていたか疑問だった対応も散見されたように思いました。それに対し改善勧告を再三行い、一部是正しえたこともありましたが、殆どの場合、病院から情報発信されることはなかったように思えます。その苦い経験を踏まえ、今後は地域の医療との直接的な連携を考え、地域の感染予防に微力でもお役に立てればと考えております。

## 医師紹介

当院の力となってくれている若き  
ドクターたちです

清水 桃子  
(しみず ももこ)

内科

2021年10月から2022年3月の6ヶ月間、いすみ医療センターで研鑽を積ませて頂きます。短い間ですが、いすみ地域の皆様のお役に立てるように尽力してまいります。よろしく願い申しあげます。

宮本 真衣  
(みやもと まい)

糖尿病・代謝  
内分泌内科

出身地である千葉県で医療に従事したいと思い、昨年度より大学・研修医時代を過ごした神奈川県から戻り、糖尿病・代謝・内分泌内科医として大学病院で勤めておりました。患者さん1人1人の心に寄り添い、より良い豊かな人生を送って頂けるように、その方にあった治療と一緒に考えていきたいと思っております。

園田 至人  
(そのだ いたる)

外科

新年1月より赴任いたします園田至人です。不慣れな点あると思いますが地域のため精一杯頑張らせていただきます。よろしく願いします。



## 新型コロナウイルスに 対する治療薬

2019年末に発生した新型コロナウイルスによる感染症は、当地域においても猛威を振るいました。

2020年5月より治療薬は発売され、当院でも入院患者様の治療が行われました。新型コロナウイルスによる感染症に適応をもつ薬剤は、ウイルスの増殖を抑える**ベクルリー**、抗体がウイルスに結合することでウイルスの働きを抑える**ロナプリーブ**と**ゼビュデイ**。ウイルスによる炎症を抑える**オルミエント**の4種類があります。当院では、その内のベクルリーとロナプリーブを使用した治療が行われました。今現在も、治療薬の開発は進められており、**2021年12月に抗ウイルス薬の内服薬「ラゲブリオ」が発売されました。**

### 患者様へ、病院からのお知らせ

当院お問い合わせの際は、診察券をご準備ください。  
診察券番号と照合させていただき、カルテを確認いたします。  
事前に診察券を準備していただくと、スムーズな案内が行えます。お手数ですが、ご協力をお願いいたします。

### いすみ医療センターでは、他院からの画像検査をお受けします

当院では、CT・MRI検査などの画像検査のみの受診が可能です。  
画像検査は、頭(脳)、胸部(肺)、腹部(内臓)、手足(骨・筋肉)など全身の画像を撮影し、苦痛なく体内を知ることができます。  
「咳が続く」「腹痛がある」など症状がある方はもちろん、心配事があれば、かかりつけがいすみ医療センターでなくとも、かかりつけの先生を通し、紹介状をお持ちいただくことで、当院で検査だけを行うことができます。  
検査結果は、CDなどに焼きだしますので、かかりつけの先生の元に持ち帰って頂き、診てもらうという流れになります。  
「通院先を変えたくない、でも検査はしてほしい」という思いをお持ちの方は、ぜひご利用ください。

